

上越教育大学附属小学校開校40周年記念事業

音故知新プロジェクト寄付金趣意書

上越教育大学附属小学校は、昭和56年（1981年）に上越教育大学学校教育学部附属小学校として開校しました。地域や関係諸団体など多くの皆様に支えられ、来年度、おかげさまをもちまして開校40周年を迎えることとなりました。また、高田師範学校附属小学校から数えると120周年の節目の年となります。

これまで、多くの優秀な人材を輩出し、上越市内、県内はもとより、日本各地そして世界で活躍する卒業生がいることは、本校の誇りであります。

現在も、「自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校」を研究主題とした第11期教育課程開発研究のもと、柔軟な発想で新しい時代、新しい社会を創造する子どもの育成に取り組んでおります。

この度、当附属小学校に眠る名器スタインウェイピアノを復活させ、ストリートピアノコーナーをつくる「音故知新プロジェクト」を立ち上げ、古き良き時代の音を蘇らせるとともに、本物に触れることで新しい時代を創造していく喜びを、子どもに感じ取ってほしいと考えております。

なお、スタインウェイピアノの復活に関しては、約1年間の修理期間（現在、埼玉県の工場で修理中）と約350万円の費用がかかります。復活した暁には、創立記念日でもある令和3年10月1日（木）に行う「開校40周年記念式典」でのピアノのお披露目、その後は、本校児童・保護者の他、ご寄付いただいた方々からもこのピアノに触れていただくような企画も考えております。

つきましては、趣旨に賛同いただき、附属小学校の子どもの夢や希望を育む当プロジェクトにご支援いただきたく、お願い申し上げます。

令和3年3月

各 位

上越教育大学附属小学校PTA会長・音故知新プロジェクト実行委員長

井部 真介

上越教育大学附属小学校長

大場 浩正